

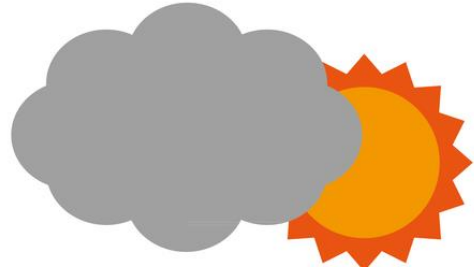
POEM～季節の風

オチ期

金太郎

生きている間には数え切れないほどの浮き沈みがある
今は最大のオチ期
耐えよう 浮いてくる時まで

家族とも最悪
母親は口を開けば
ボケ老人以下 子ども以下という



最愛の人とも最悪
なんでだ？
でも出逢った時の人間同志には戻りたい 戻る！きっと

信じる！
今まできた道 触れ合った人たちを
還暦まで1ヶ月